



東急電鉄



2015年7月2日

渋谷駅街区開発計画 期（東棟）への展望施設設置について
～日本最大級の規模を誇る屋外展望施設が渋谷駅直上に誕生～

東京急行電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社

当計画については、2013年6月17日に東京都より都市再生特別措置法に基づく都市再生特別地区の都市計画決定がなされ、2014年8月より本格的な工事に着手しています。

渋谷は、すでに観光都市として高い認知度を得ていますが、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定に伴い、ますます訪日外国人等の観光客の増加が期待されます。

今回、エンタテインメントシティ SHIBUYA の実現に向け、渋谷を訪れる方々に対する都市の魅力をさらに高めるため、当計画を一部変更し、2019年度に開業を予定する東棟の最上部に、屋外と屋内からなる展望施設を設置します。

当該屋外展望施設は、超高層ビルの屋上を全面的に活用したものではありません。日本最大級の規模を誇り、その開放感は圧倒的です。渋谷随一の高さ（地上約230メートル）から、代々木公園の後方に広がる新宿の超高層ビル群、六本木・都心方面、そして富士山に至るまで、遮るものがない素晴らしい眺望が広がります。

さらに、世界的観光名所であり、世界一人通りが多いとも言われるスクランブル交差点を眼下におさめ、渋谷の圧倒的なダイナミズムを体感できる場所となります。

今後もさらに魅力を高め、国際都市渋谷のますますの発展に貢献してまいります。



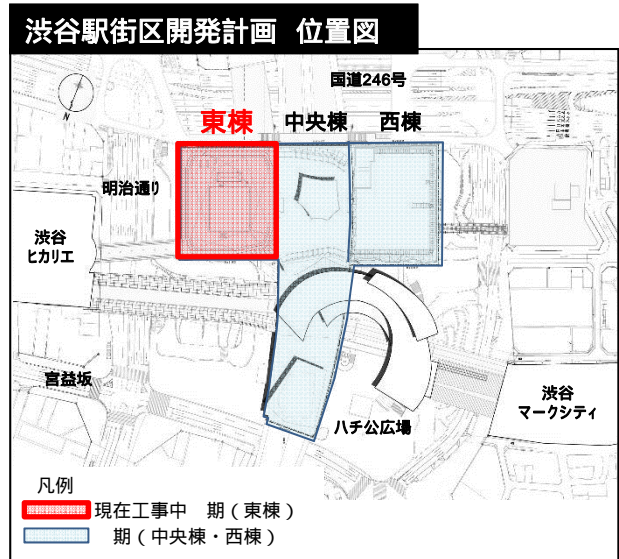
現時点でのイメージであり、今後の検討により変更される可能性があります。

以上

(別紙)

渋谷駅街区開発計画 期(東棟)の計画概要

- 事業主体 東京急行電鉄株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東京地下鉄株式会社
- 所 在 東京都渋谷区渋谷二丁目23番 外
- 用 途 事務所、店舗、展望施設、駐車場等
- 延床面積 約181,000㎡ (参考 全体完成時 約276,000㎡)
- 階 数 地上47階 地下7階
- 高 さ 約230m
- 設 計 者 渋谷駅周辺整備計画共同企業体
- ・(株)日建設計
 - ・(株)東急設計コンサルタント
 - ・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所
 - ・メトロ開発(株)
- デザインアーキテクト
- ・(株)日建設計
 - ・隈研吾建築都市設計事務所
 - ・SANAA事務所
- 施 工 者 渋谷駅街区東棟新築工事共同企業体
- ・東急建設(株)
 - ・大成建設(株)
- 予定工期 2014年度～2019年度
- 開業時期 2019年度



オフィス

- ・渋谷駅周辺最大級となる賃貸面積約73,000㎡のハイグレードオフィス

展望施設

- ・エンタテインメントシティSHIBUYAの核として、街の魅力をさらに高める展望施設

交流施設

- ・クリエイティブ・コンテンツ産業のイノベーションを促進する交流施設

商業

- ・店舗面積 約30,000㎡ の大規模商業施設 (全体完成時・駅直上約70,000㎡)

防災対応機能の整備

- ・帰宅困難者受入れ空間の確保
- ・防災備蓄倉庫の整備
- ・高効率で自立性の高いエネルギーシステムの導入

東口立体交通広場の整備

- ・街へのアクセス性や鉄道乗換の利便性・快適性の向上
- ・アーバン・コアによりつながれた多層にわたる空間

約230m

期 東棟

期 中央棟

期 西棟

銀座線

副都心線

東口広場

山手線

東京線

半蔵門線

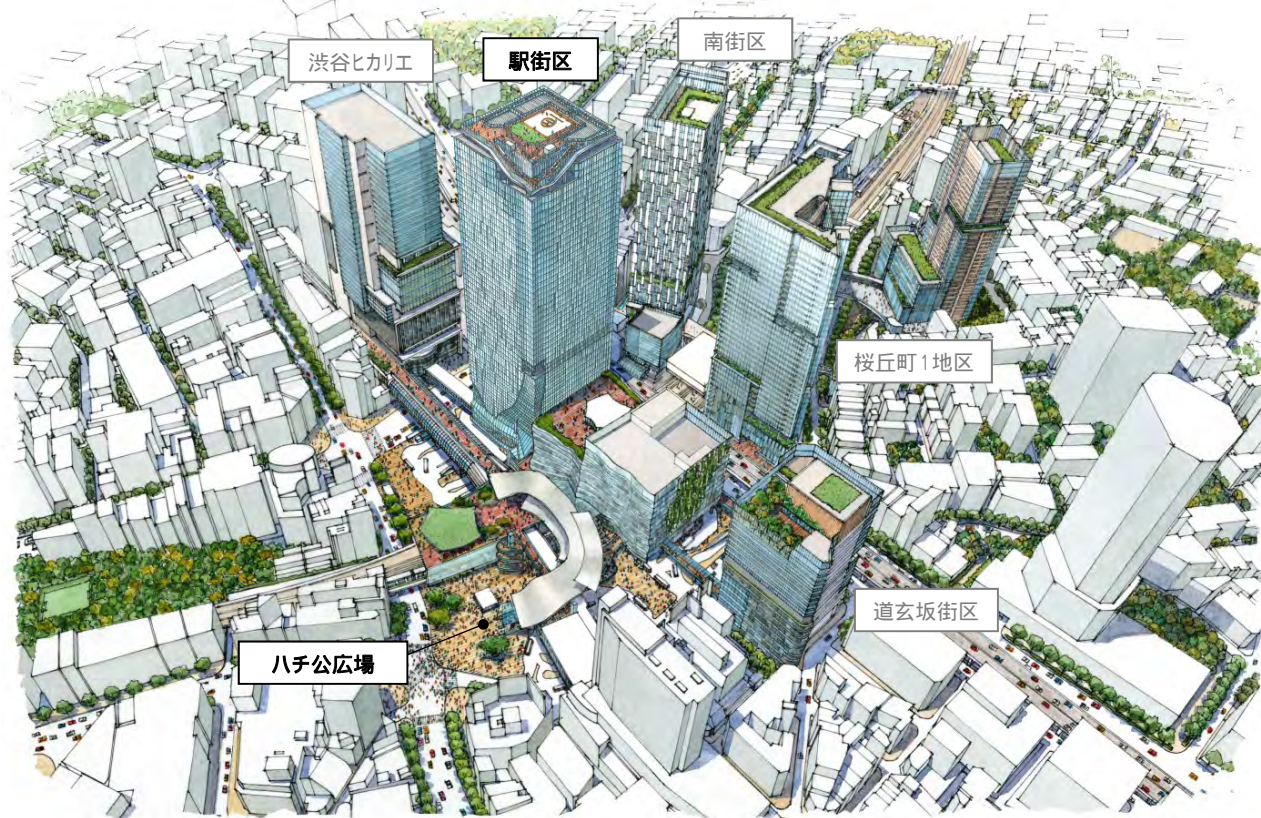
田園都市線

ハチ公広場

全体完成イメージ



全体完成イメージ (鳥瞰図)



屋外展望施設と富士山の眺望イメージ



スクランブル交差点を見おろすイメージ



屋外展望施設と新宿方面の眺望イメージ



屋内展望施設イメージ



現時点でのイメージであり、今後の検討により変更される可能性があります。

以上